

# ぴか! 創

令和6年度 図工・美術部報 No.1  
発行：6月28日（金）

## 未来のゆくえ

岡崎市現職研修委員会図工・美術部  
部長 長谷川 勝一

先日、「図工・美術の授業に生成AI活用」という記事を読んだ。導入を検討している県の教育委員会では、専門性が高く、指導が難しい教科に導入し、教員の負担軽減を図りつつ、子供たちの個性を伸ばすことを目指す、としている。導入の背景として、小学校では教員免許が教科ごとに分かれていないことから、図工に関しては教師によって指導力の差が大きいこと、中学校美術の免許を持っている教師が少ないこと等をあげている。具体的な生成AIの活用場面では、子供と生成AIが対話する形式で利用し、子供の個性や関心を引き出す。子供が作品制作時にタブレット端末で疑問を書き込むと、AIは「なぜそう思ったの?」「何が好きなの?」と、問い返し、子供が自ら答えを出すように促すという。

図工・美術の教師として数十年教壇に立った身としては、この内容に違和感をもった。なぜなら、この生成AIと子供のやり取りは、これまでの教師と子供のやり取りであるからだ。

子供が表したいものを思いつく、表したい主題を見付けることは、図工・美術では表現の起点となる重要な場面である。教師の投げかけに対し、子供はどう受け止め、思考しているのか。表現への欲求はどの部分にあるのか。個々の子供の状況をつかみ、曖昧で無自覚なイメージをはっきりさせ、表現への意欲に火をつけるのは、まさに図工・美術教師の役目と言ってよい。子供の姿は千差万別である。その時々表情やつぶやき、こだわり、興味や志向は皆違う。考えや思いを後押しする言葉が必要なのか、あるいは揺さぶる問いが必要なのか。他の子供とのかかわりが必要なのか、あるいは作品との出会いや鑑賞が必要なのか。目の前で子供の息づかいを感じつつ、その子供を支援できるのは、AIではなく、教師だと思うのは、私が古い人間だからであろうか。

テクノロジーの進歩は、現段階では不可能だと思われることを、やがて可能にするだろう。生成AIがさらに進化することも疑いのない事実である。その時、図工・美術教師は必要とされるのか、ひいては、図工・美術という教科は存続するのか。ふと考えてしまうが、これは図工・美術科に限ったことではない。

## ◆ 令和6年度 図工・美術部 論文入賞者紹介 ◆

### 優秀賞

安藤 智実先生(現・細川小学校) 「子供なりの発想を生かし、主体的に造形教育に取り組む子の育成」

森本 都美先生(甲山中学校) 「自分の思いの具現化に向けて技法を工夫し、粘り強く表現できる生徒の育成」

### 佳作

横田 舞 先生(竜美丘小学校) 松木 大悟 先生(細川小学校)

石川 佑奈 先生(恵田小学校) 細井 雄介 先生(六ツ美北部小学校)

天川 奈津子先生(矢作中学校) 加藤 朱実先生(現・新香山中学校)

おめでとう  
ございます!

# 岡崎市教育研究大会 研究レポート 一図工・美術一 是非ご執筆ください！！

8月29日(木)に岡崎市教育研究大会が開催されます。レポートの締め切りは、7月29日(月)です。教育研究大会において、図工・美術部会がより実りある研究の場となるよう、多くの方に研究の成果を発表していただければと思います。教科担任制との兼ね合いもありますが、図工・美術を担当されている先生方の多くのレポート提出をお待ちしておりますので、是非よろしく願いいたします。また、多くの先生方のご参加もお待ちしております。

※令和5年度教研レポート URL :

<http://www.okstudy-kg.local/kvousyokuinportal/pages/okazakinokyouiku/63/index.html>

⇒OKリンク上でURLをコピーペーストして検索していただくと、過去に発表いただいた先生方のレポートを参考にすることができます。ご活用下さい。

※6ページ以内であればレポート実践として発表できます。

※教材の見本のデータや児童の振り返りシートの記述の記録、児童生徒作品制作過程の写真をスクールタクトで保存したり、授業の板書を撮影する等、計画的にご準備ください。



## 岡崎の図工・美術教師展 について

開催日：令和6年8月7日(水)～8月11日(日)  
開館時間：午前10時～午後6時 ※最終日は午後5時閉館  
会場：岡崎市美術館第5展示室(岡崎市警察署近く)

作品出品の御回答ありがとうございました。フリースペースへの出品は、一人3,000円です。会費は搬入時に集金します。なお、今年度は20回目の開催を記念して、子展試作品コーナーと仲間広場への出品は無料です。  
**多くの方にご観覧いただきたいため、各学校の先生方へのご周知をお願い致します。(入場無料)**



昨年度の様子

## デジタルコンテンツの活用

### 図工・美術部 WEB資料活用のお知らせ

図工・美術の授業で児童・生徒に見せる参考作品に…  
先生方の教材研究用として…  
おかげさう展の題材アイデアとして…

**WEB資料** を、ぜひご活用ください！

#### ①「リトル絵画作品集」



※過去のリトルアーティスト作品展入賞者の作品が、学年別に見ることができます。拡大して、細かい筆のタッチも見るができます！  
(校内のネットワークでのみ閲覧可能です。)

#### ②「実践事例集」



※各学校のおかざき子展実践事例が、学校別に見ることができます。制作手順も記載されていて、参考になります！  
(各校1学年のみ掲載されています。)

#### 《WEB資料の閲覧方法》

- ①「OKリンク」を開く。
- ②「現職研修委員会ホームページ」をクリックして開く。
- ③「図工・美術部」をクリック。



## 図工・美術部 夏季研修会のお知らせ

### ★基礎編 8月2日(金)午前 総合学習センター

内容①：「水彩画の基礎指導」  
講師：堀口 宏章 先生(北中/美術科指導員)  
鳴田 佑子 先生(南中/美術科世話係)

### 内容②：「鑑賞活動ワークショップ」

講師：中根 勅子先生(六ツ美西部小/図工指導員)  
加藤 朱実 先生(新香山中/美術科世話係)

### ☆専門編 7月30日(火)午前 岡崎市少年自然の家

内容：「教材研究」  
講師：高橋 誠 先生(岡崎市少年自然の家所長)  
(前六ツ美北部小学校校長)

昨年度の様子



持ち物等の詳細は後日連絡します。

### 【おかざき子展の実践記録集について】

Web資料でも見るできるよう、実践記録集のURLを図工・美術主任会の電子会議室やTeamsでお知らせをする予定です。よろしくお願い致します。